

2024年9月28日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

## テーマ『当たり前を極める』

神聖の世界へ足を踏み入れた私たちに共通の個人的天命は、当たり前と感じる事々への徹底した感謝行をおして、魂に底力を付け、人間としての幅や器そのものを大きなものにしてゆくことです。

なぜなら、こうした魂の基礎・基本・土台を強化しないまま生きていると、"生かされている事実への有り難み"がなかなか湧きあがってこない（判らない）ため、不平・不満・不足といった未来に悪因の種をまく想念習慣を、いつまでも卒業し難い意識境涯に自らを縛り付けてしまうからです。

そのような不平・不満・不足の想いの癖こそが、私たちに苦悩を感じさせていた要因であり、その境涯を抜け出しきさえすれば、私たちの心に、次の変化が生じてまいります。

- 他者依存や責任転嫁といった幼稚な想念・言動行為をしなくなる
  - 運命のすべてが自己責任であることを、当たり前に理解できるようになる
  - 明るく楽天的で前向きな無限なる力が、コンコンと湧きあがってくる

私はそのように生きることを、『当たり前を極める生き方』と名付けています。それは、平凡にできることを極めることであり、当たり前なことに感謝出来る状態です。

生きてゆくうえで一番の基本である肉体に目を向けるだけでも、次のようにたくさんの感謝の対象があります。

- ・目が見えること
  - ・耳が聞こえること
  - ・鼻が利くこと
  - ・舌で味わえること
  - ・皮膚で触った感触を確かめられること
  - ・呼吸が出来ていること
  - ・心臓が動いていること
  - ・血液が流れていること
  - ・それにより、酸素を体内に取り入れ、二酸化炭素を体外に排出できていること
  - ・手足を動かせること
  - ・首を動かせること
  - ・二本の足で立ったり座ったりできること
  - ・関節が動くこと
  - ・骨がしっかりと体を支えていること
  - ・筋肉が動きを支えていること
  - ・神経が全身に張り巡らされていること
  - ・皮膚が肉体を守ってくれていること
  - ・体内の不要な要素が、様々な形で体外に排出されていること
  - ・意識が脳と連動して働いていること
  - ・栄養素を食べ物から摂取できていること

- ・消化器官が一つがなく働いていること

そのように「当たり前だと思っていたことに感謝しよう」と発心を起こすだけで、私たちは、自己に対しても他者に対してもたくさんの”有り難み”を見つけ、感じることができます。

そのように見てまいりますと、日常生活のなかで触れている人工的な物質に対しても、水や空気、大地、風・雨・雪・宇宙などに対しても、人間以外の種々の生物に対しても、数え切れない種類の感謝が湧いてきます。

もっと意識を広げてゆきますと、先祖や神々といった目に見えない、自分を今ここに存在せしめている命の源の存在への感謝も湧いてまいります。

そのような意識で日々を生きておりますと、すべては繋がり合っていて、何一つ独立して個別に存在しているものはないことが実感されてきます。

土曜日の夜は、「当たり前じゃないか」と思う想いの癖で麻痺させてしまった”人としてあるべき感性（基本）”に立ち返った意識で、当たり前だと思っていた事々が実は当たり前などではなく、連綿と繋がり合った奇跡のうえに成り立っている事実に想いを馳せながら、すべてのすべてに無限なる感謝を捧げつつ、神聖復活の印を組む時間にしてまいります。

A decorative horizontal separator consisting of a series of five-pointed star symbols, alternating with solid black stars, centered at the bottom of the page.

2024年9月28日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 初めの話

皆様、こんばんは。土曜日夜の『神聖で繋がり合う日』のプログラムを始めてまいります。

木曜日に送信したメールのなかで、「当たり前だと思っていた事々が実はまったく当たり前ではなく、連綿と繋がり合った奇跡のうえに成り立っているのですから、そうした事実に感謝の心をもって過ごしましょう」というようなことを書きました。

こうした観点は、病気などで体が不自由になったり、気力や体力がおとろえたりして、当たり前に出来ていたことが出来なくなったときなどに、心の底から「ああ、こういうことだったんだなあ」と、感嘆するように思えてくる気づきであります。

そうした気づきは、神聖を忘れ果て、感謝一念の境涯を遠く離れて生きてきた私たちが、神聖人類に戻ってゆく道の途中で思い出す気づきで、大なり小なり、皆さま、それぞれにご体験されているのではないでしょうか。

私たちは人生という道の途中で、さまざまな状況の変化を体験しています。そのなかで、自由や不自由、健康や不健康、喜びや悲しみ、怒りや赦しなどのように、まったく正反対の立場を両方経験することで、そのどちらにも偏らない中庸の意識を身に修める学びをさせていただいている。

それは、人間としての幅を広げ、器を大きくするために必要な経験であります。私たちのエゴは、ともすれば、"自分が気に入った状況"という洞窟にこもって、小さな自己満足を得る方向に動こうとします。そして、そのような状況を観た私たちの守護霊・守護神さま方は、私たちにより広い世界を見聞させて、魂を大きくしてゆけるように、エゴさんが望まないハプニングのなかに置いたり、なかなか真理の気づきに至らない場合には、長期的に悩みが生じるような状況を経験させてくださっています。

そのような状況を体験し尽くした私たちは今、「呼吸が出来ることがありがたいな」「水を飲めることが有り難いな」「二本の足で歩けることは有り難いことだったんだな」「細胞さんたちが新陳代謝してくださって有り難いな」と、昔の自分なら感謝できなかつた”当たり前と思わしきこと”にも感謝できるようになってきました。

また、「あらゆることが当たり前なんかじゃないんだな」「難しい理屈は判らないけれど、有り難いことばかり

で、幸せでもったいないなあ」「みんな一人一人が一生懸命に生きているんだな」「地球人類全員の守護霊・守護神さまが、ご自分の護っている肉体人間の神聖復活を果たさせようと、寝る間も惜しまず働かれている。だから地球は大丈夫だ。人類の神聖復活は大成就する！」と、感謝一念の心境で光明の想念・言動・行為に徹して、あらゆる立場や状況に寄り添える祈りの日々を過ごせるようになってまいりました。

今ここには、そうした神聖の意識で日々を過ごされている方々がたくさんおられます。本日は、こうした私たちの小さな感謝を寄せ合って、大きな大きな感謝の響きを地球全体に響かせる時間にしてまいりたいと思います。

それでは時間になりますので、はじめに、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。

\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆

## 1. 世界平和の祈り

世界人類が平和でありますように。

日本が平和でありますように。

私たちの天命が完うされますように。

守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

May peace prevail on Earth.

May peace be in our homes and countries.

May our missions be accomplished.

We thank you, Guardian Deities and Guardian Spirits.

\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆\*★\*☆

## 2. 当り前と思っていた事々への感謝の時間

はい、ありがとうございます。次は、「そんなの当たり前じゃないの」と思っていた事々に、心からの感謝を捧げる時間を取ります。始まりの時にも少しお話しましたが、私たちはたいがいの場合、不自由な立場を経験することで、当たり前に出来ていたことへの有り難みを感じることが出来ます。逆に申しますと、なんでも自分の力で出来るというポジティブな経験しか体験しておりませんと、たとえば、肉体の様々な部位が誰に命令されるわけでもなく働いてくださっていることにさえ、感謝する気持ちを忘れながら生きています。本日はこうした人としての基本的な感謝の気持ちを世界に響かせるために、ここにいる私たちが人類を代表して、『当たり前だと思っていたけれど、実は当たり前ではなかった』様々な事象・対象に対して、心からの感謝を捧げてまいります。はじめに私のほうで、メールに書いた21項目を読み上げます。その後に、皆さんそれぞれに「ああ、当たり前だと思っていたけれど、実は当たり前じゃあなかったんだな」とお思いの事柄がおありだと思いますので、こうした個人的な感謝をそれぞれに思い浮かべ、感謝の光をお送りください。たとえばそれは、「ああ、妻が食事を作ってくれたり、洗濯してくれたり、家の掃除をしてくれることは当たり前だと思っていたけれど、実はまったくもって当たり前じゃあなかったんだなあ」とか、「うちの人は居たら居たで大きな子どもみたいなところがあるけれど、この人が一緒に生きててくれてよかったな。うちの人の守護霊さま、ありがとうございます」など、誰に言うわけでもありませんので、どんな感謝でもいいと思います。それでは、音楽を流しながら当たり前だと思っていた事々に感謝する時間を取ります。

・目が見えてありがたいなあ

- ・耳が聞こえてありがたいなあ
  - ・鼻が利いてありがたいなあ
  - ・舌で味わえてありがたいなあ
  - ・皮膚で触った感触を確かめられてありがたいなあ
  - ・呼吸が出来ててありがたいなあ
  - ・心臓が動いててありがたいなあ
  - ・血液や体液が循環してくれてありがたいなあ
  - ・酸素を体内に取り入れて、二酸化炭素を体外に排出してくれてありがたいなあ
  - ・手足を動かせてありがたいなあ
  - ・首を動かせてありがたいなあ
  - ・二本の足で立ったり座ったりできてありがたいなあ
  - ・関節が動いてありがたいなあ
  - ・骨がしっかりと体を支えてくれてありがたいなあ
  - ・筋肉が動きを支えてくれてありがたいなあ
  - ・神経が全身に張り巡らされててありがたいなあ
  - ・皮膚が肉体を守ってくれててありがたいなあ
  - ・体内の不要な要素が、様々な形で体外に排出されてありがたいなあ
  - ・意識が脳と連動して働いてくれてありがたいなあ
  - ・栄養素を食べ物から摂取できてありがたいなあ
  - ・消化器官がつつがなく働いてくれてありがたいなあ

ここから先は、皆さまそれぞれに思い浮かべられる、個人的な感謝を捧げる時間にしてください。この先5分間をその時間に当ててまいります。

＜当たり前だと思っていた事々への感謝の時間＞

\* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★ \* ★

### 3. 神聖復活の印

次は、神聖復活の印です。「はい」の合図で、ご一緒に宣言をしてお組みください。7回連続を3セット行ないます。それでは始めます。はい。

## ＜一回目の宣言＞

神聖そのものの私達が大自然を抱きしめながら、宇宙神の光を送ります。

[神聖復活の印を七回連続]

## ＜二回目の宣言＞

神聖そのものの私達が生きとし生けるものを抱きしめながら、宇宙神の光を送ります。

[神聖復活の印を七回連続]

### 〈三回目の宣言〉

神聖そのものの私達がすべての人類を抱きしめながら、宇宙神の光を送ります。

[神聖復活の印を七回連続]

#### 4. 能登半島へのお祈り

はい、ありがとうございます。最後に、能登半島へのお祈りをいたします。本日は、日本語・スペイン語・英語

で1回ずつ唱えて、神聖復活の印を一回組みます。それでは始めます。

能登半島の人々の天命が完うされますように。能登半島の復興、大成就。

能登半島の人々の天命が完うされますように。能登半島の復興、大成就。はい。

[神聖復活の印を一回]

以上